

『様々な遊びの中で
健やかに育つ子ども』
実践フォト&事例



令和4年度の応募総数は40作品！各部門の最優秀賞を紹介します。

写真部門

(同票で2作品が最優秀賞になりました)



大きいのとれたよ！
(1歳児)



泣かないで
(1歳児)

保育環境アイデア部門



登りたい!! 欲求を満たすコーナーから…
(2歳児)



つぶやき・エピソード部門

(同票で3作品が最優秀賞になりました)



バギーに乗って散歩に出掛けると、暖かい日差し&心地よい揺れに眠りにつく子どもたち。A児もその一人でいつもバギーが動き出すとスヤスヤ…。しかしこの日はいつもと様子が違い、起きて回りをじーっと見つめていた。その姿に気が付いたB児。

“あれ！？今日は寝てない！！(大変、寝させてあげないと)”と思ったのか「ねんね～。ねんね～」と、A児の頭をさすりながら寝かしつけ始めた。友だちの姿をよく見ているな～と、関心する保育者をよそにA児は“眠くないんだけど”と、表情で訴えていた。

動きが活発になるにつれて、視野が広がり友だちにも興味をもち始めている子どもたち。友だちと同じ遊びがしたい！友だちが楽しいことをしている！と、自分から参加する姿が見られる。また、お家の人や保育者からしてもらって嬉しい経験を友だちにもしてあげようとする子どもたちの姿が見られ始めている。

私がお手伝いをするわ!!
(0歳児)

自分たちが行ったロボット公園まで30分、4歳児が行った曙川公園まで40分。「あれ？(4歳児が行った)曙川公園の方が遠い？」との疑問と5歳児のブライドから、地図を使っでの距離測定が始まりました。こども園から公園のルートを保育者と確認すると指を使い、距離を測っていました。しかし、本当にそれであっているのか？より確信に迫るため、今度は近くにあった紐(毛糸)を使って測ることにしました。

しかし、紐は柔らかく、上手くルートに沿わないため、自然と手が伸び、曲がり角を指で押さえていました。それでも、紐は少し伸び縮みするので、次に地図を切り貼りし、ルートをまっすぐにして比べていました。あえて、長さを測るための道具など提示しなかったことで、子どもたちが試行錯誤しながら長さを比べることにつながりました。

どっちが遠いか確かめよう
(5歳児)

拾ってきたドングリを剥いて、ピザをつくり始めました。大好きな5歳児に渡すと「ピーナツだけのピザはいらん」と返されました。「なんでいらんのかな？」「どんなんやったら食べてくれるのかな」と悩んだ子どもたち。周りの友だちから「大きい組さんにどんなんやったら食べてくれますか？って聞いてみたらいいやん」とのことで、早速5歳児のところへ行きました。置いてあったピザ屋の広告を見て「もっといろんな具材があれば食べたいと思う」とのことで保育室に戻り友だちに伝えました。「じゃあ、ハムつくるか？」「ピーマンつくるわ」などと分担したり、いろいろな素材を使ったりしてピザをつくっていききました。出来上がってすぐに5歳児のところを持っていくと「美味しそうやん。ありがとう」と言ってもらい大満足な様子でした。そこから、宅配車や窯もつくり、ピザ屋ごっこを楽しみました。

どんなんやったら食べてくれるのかな？
(4歳児)

教材開発部門

『子どものトキメキ、ひらめきを大切に』下の写真の絵はおおぞら・ひかり・そよかぜ・せせらぎ・わかばをイメージして、5園共通で大事にしたい八尾のステキ保育をイラストにしました。



ステッカー部門

ドキドキ・わくわくがいっぱい



電車つなぎ(ペットボトルのキャップ)
(2歳児)

指先も使いながら、電車や線路を長くつなげたり、走らせたりを楽しむことができたなら良いなと思い、キャップの電車つなぎをつくってみました。

たくさんのご応募、ありがとうございました。応募作品は、「どこでもキャビネット→教材共有システム→3. 就学前教育→04実践フォト&事例」に今後、掲載予定です。ぜひご覧ください！

